

令和7年11月10日

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

代表取締役社長 野崎 秀則

地域における新たな交通環境の構築を目的に 路線バスと連携したシェアサイクルの社会実験を行っています

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎 秀則）は、神奈川県藤沢市からの委託を受け、東海道線本線の大船・藤沢間に新設される村岡新駅（仮称）の周辺地区での新たな交通環境の構築に向けた検討の一環として、シェアサイクルを中心とした社会実験を実施します。

本社会実験は、村岡地区での移動がより便利になり、自家用車に頼りすぎない交通環境の実現に向けた取り組みの第一弾として、シェアサイクルの周知と利用促進により、日常的な移動手段としての定着を図ることを目的としています。

なお、この社会実験は、OpenStreet株式会社、江ノ島電鉄株式会社、ほか地域の事業者のご協力のもと、藤沢市が実施する取り組みです。

【社会実験の概要】

- ① 実験内容
- 実験1**：サイクルポートの新設による移動実態の検証
 - 実験2**：バスとシェアサイクルの連携による利便性向上の検証
 - 実験3**：バス待ち空間整備による効果の検証

② 実験期間

2025年11月1日（土）～11月30日（日）までの1か月間

③ 実験場所 神奈川県藤沢市村岡地区内

④ 実験内容の概要

実験1：サイクルポートの新設

藤沢市内で営業しているシェアサイクル『HELLO CYCLING』のポートを、村岡地区内に10箇所以上増やし、シェアサイクルを身近に利用できる環境を形成します。



実験2：バスとシェアサイクルの連携による利便性向上の検証

村岡地区内の2か所のバス停（江ノ電バスの小塚バス停及び弥勒寺バス停）において、バス発車予測時刻や周囲のシェアサイクルの空き情報を提供し、移動利便性向上の可能性を検証します。

情報提供は、バス停に設置された二次元コードの読み取りにより行い、バス発車予測時刻、藤沢駅到着予測時刻のほか、バス停周辺にあるシェアサイクルの貸出情報と、藤沢駅周辺のポートまでの所要時間を把握することができます。



左図 情報提供の案内と稼働する二次元コード



右図 情報提供画面の一部

実験3：バス待ち空間整備による効果の検証

バス待ち空間整備による周囲のにぎわい向上や、モビリティをきっかけとした人が集まる空間を形成し、シェアサイクルの認知向上や地域活性化等の可能性を検証します。

また、その一環として、シェアサイクルなど新たなモビリティの体験・展示会を実施します。

11月1日（土）・8日（土）・16日（日）

於：ミロクジーナ

（神奈川県藤沢市弥勒寺三丁目12番16号）

11月9日（日） 於：村岡市民センター

※各日とも雨天中止



体験・展示会の様子(11/1)

【株式会社オリエンタルコンサルタンツの主な役割】

- ・社会実験の企画運営全般、シェアサイクルポート設置協議支援、情報提供システムの構築
- ・社会実験による移動利便性向上の検証、移動サービスやまちづくりへの市民の機運醸成 等

＜藤沢市シェアサイクル社会実験のご案内＞

藤沢市ホームページ

URL:

<https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/tosei/machizukuri/r7zikken.html>

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011

URL: <https://www.oriconsul.com/>

統括本部 伊藤・日原・丸山・門司